

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大	事業	051	学校給食管理事業	中	事業	11	春江坂井学校給食管理事業		
小	事業							他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-2	学校教育の充実		春江・坂井学校給食センター
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	学校給食法、学校給食衛生管理基準			
根拠例規	有	坂井市立学校給食センター条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市総合計画、坂井市教育振興基本計画、坂井市食育推進計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】
中学校2校（春江・坂井）、小学校7校（春江・春江西・大石・春江東・東十郷・大関・兵庫）、幼保園2園（春江・春江東）の計11施設に給食を提供する。

- 需用費（消耗品費、光熱水費、修繕費、賄材料費等） 220,635千円
- 役務費（通信運搬費、手数料、保険料） 1,845千円
- 委託料（施設整備等各保守点検委託、配送業務委託等） 35,157千円
- 使用料及び賃借料 100千円
- 備品購入費（施設給食備品） 136千円
- 負担金 6千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	257,879	270,937	269,391	△ 13,058
	人件費	132,589	133,139	150,256	△ 550
	総事業費	390,468	404,076	419,647	△ 13,608
人員	正職員	15.08 人	15.00 人	16.00 人	0.08 人
	臨時職員	17.56 人	18.37 人	20.97 人	△ 0.81 人
	人員計	32.64 人	33.37 人	36.97 人	△ 0.73 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	167,732	186,038	185,275	△ 18,306
	一般財源	222,736	218,038	234,372	4,698

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	地場産食材使用率	%	目標	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
			実績		69.5	60.9	54.8	57.6
			達成率(%)	0.0	139.0	121.8	109.6	115.2
指標の説明		地場産使用品目を数量 (kg) にて、全体の使用量との割合で計算する						
指標	地場産食材を使った加工品	件	目標	12	12	12	12	
			実績		19	21	18	
			達成率(%)	0.0	158.3	175.0	150.0	0.0
指標の説明		地場産食材を使った加工品目数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								
指標に基づく評価	地場産を中心とした安全・安心な食材の購入を基本に、美味しく栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めました。食材の質と量の供給体制については、農業関連業者等と連携し、地場産食材使用率の向上につながりました。							

6.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	<p>地産食材は、気象条件等に左右されるため数量の確保が難しく、安定した供給を見込めないのが現状であり、質と量を確保する体制について検討する必要があります。施設開設後7年が経過し、年々、施設設備や調理機器等に修繕箇所が見受けられるようになってきています。</p>		
成果と改善点	<p>給食材料に積極的に地場産を中心とした食材を取り入れ、安全でおいしく栄養バランスのとれた学校給食を提供しました。 また、農業関連業者等と連携をとることで地場産食材使用率の向上にも努めました。 施設用品等の修繕については、効率的な使用維持を周知するとともに職員対応可能なものは職員で対応し、経費節減に努めました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	改善（見直し）	
方向性の理由	<p>三国学校給食センターの新センターへの移行に伴い、より効果的・効率的に学校給食が提供できるよう両センターの配送先を見直し、令和2年度以降、当センターからは中学校2校、小学校4校、幼保園2園の計8施設に給食を提供します。</p>	